

当センターの職業訓練を修了後、株式会社ハル技術研究所様に就職され、機械加工を担当されている野口 晴加様（CAD・NC機械科 平成29年6月修了）と、CADオペレータの川上 純子様（CAD・ものづくりサポート科 平成30年6月修了）のお二人に現在のお仕事等について、お話を伺いました。

さらに、野口様の上司の工務／工作部 部長 竹内 康省 様と、川上様の上司の技術部 部長 山本 幸治 様に採用やお二人の仕事ぶりについて、お話を伺いました。



（左から、山本部長、川上様、野口様、竹内部長）

\* \* \* \* \*

**自分の手で汎用旋盤のハンドルを回して、公差内に加工できるとうれしい。**

**未経験の人も、女性も、前向きにやる気があればできる。**

修了生の野口様に、現在のお仕事や就職の経緯などについてお話を伺いました。

◇現在のお仕事は？

- 機械加工職（正社員）として、汎用旋盤を担当しています。仕事内容は、部品発注・受入検査、図面整理、レーザー印字、機械加工です。

◇前職は？

- 理容師（正社員）です。

◇就職されて、いかがですか？

- 入社して1年2ヶ月になります。汎用旋盤の仕事がしくて入社しました。加工だけでなく、職業訓練ではしていないレーザーマーキングや組付けに必要な部品の棚出し、仮組みなど、いろいろなことを知ることができて楽しいです。わからないことは、受講中の教科書を見返して勉強しながら、仕事をしています。自分の手で汎用旋盤のハンドルを回して、公差内に加工できるとうれしくて、うれ

しさのあまり部長に見せて自慢します。

◇職業訓練を受講しようと思われたのは？

- 一 前職を退職し、ものづくりに関わりたいと思っていました。ハローワークでポリテクセンターのパンフレットを見て、受講しようと思いました。そのとき募集されていたのが、CAD・NC機械科、溶接技術科、電気・通信施工技術科の3科で、CADがおもしろそうだと思い、CAD・NC機械科を選択しました。

◇受講前、ポリテクセンターの印象は？

- 一 ポリテクセンターの印象は特になく、自分には縁がないと思っていました。ポリテクセンターを見学しても、これといって特に印象に残ったことはありませんでしたが、本格的なことをやっているんだなと感じたことは覚えています。

◇受講していかがでしたか？

- 一 若い人がいっぱい受講していて意外でした。  
ポリテクセンターでは、専門的なことをとても短い期間で学んでいると思います。内容からすると、受講期間は短すぎます。受講しているときは、6ヶ月でこれだけのことを習得するのは無理だなと思っていたし、仕事でやっていけるか不安でした。一番印象に残っているのは、安全指導が厳しかったことです。あいさつや掃除は、厳しいというより、当たり前なことだけれど、きちりしていると思います。

◇職業訓練で習得したスキルで、今のお仕事で役立っていることは？

- 一 汎用旋盤とCADです。職業訓練で学んだことが、今の仕事をするうえで必要となる専門的な知識・技術の土台になっています。

◇就職活動や当センターの就職支援は、いかがでしたか？

- 一 毎朝、CADの教室のパソコンを使って、ハローワークインターネットサービスで求人検索しました。同じクラスの人が次々と就職を決めていく中で、希望している汎用旋盤の求人は少なく、求人が探せなくて焦っていました。そんなときに、就職支援を担当する職員の方から、こちらの求人情報を提供されました。

◇就職決定の決め手は？

- 一 仕事内容が希望していた内容だったこともありますが、採用面接と見学のときに、こちらの皆様は、お人柄がよくて、温かく、やさしいと感じました。

◇今後の目標は？

- 一 まだまだ学ぶことがいっぱいあるので、まずは、ひとつひとつ、きちんとできるように積み上げていきたいと思っています。そして、一人前と認められるようになります。

◇就職活動中の方や職業訓練を受講されている方にメッセージをお願いします。

- ものづくりは、男性の多い業界・職種で、女性にとっては選びにくい仕事かもしれませんが、機械加工は、油で汚れるし、見ていると危ないと思われる作業もあるので、経験がないとできない、自分には無理だと思うかもしれませんが、前向きにやる気があればできます。

\* \* \* \* \*

**CADは専門的だから、全く頭になかった。正社員就職は、**

**年齢的にこれが最後のチャンスだと思って受講を決意。**

**仕事は、学べば学ぶほど奥が深く、楽しい。**

修了生の川上様に現在のお仕事や就職の経緯などについてお話を伺いました。

◇現在のお仕事は？

- CADオペレーター（正社員）です。

◇前職は？

- 化粧品等を製造する工場で、派遣社員としてウェットティッシュのラインで製造に携わっていました。

◇就職されて、いかがですか？

- 入社して3ヶ月になります。教えてもらいながら仕事をしています。指示されたとおり仕事ができているかどうか、まだ自分ではわからなくて、正直なところ、ちんぷんかんぷんな状態です。

◇職業訓練を受講しようと思われたのは？

- 子供が大きくなって、フルタイムで働く時間ができたので、派遣ではなく正社員として働きたいと思いました。体力的に製造ラインの仕事が厳しくなったこともあり、事務職を希望していました。ハローワークで、パソコンを学べる職業訓練の受講について相談していたのですが、その選考日がどうしても都合のつかない日で、ハローワークの方から、ポリテクセンターを紹介されました。

CADは専門的な仕事なので、ハローワークで紹介されるまで全く頭にありませんでした。4年前に家を建てたとき、建築CADですが、CADは楽しそうと思いました。見るだけでなく、やってみたいと思いましたが、できるだろうかという不安

な気持ちもありました。でも、やってもいないのにできないとあきらめるのか、このままでは結局パートで働くことになるという焦りもあったし、正社員で就職するには、年齢的にもこれが最後のチャンスだと思って、受講を決意しました。

ものづくりは経験がなく、未知の世界でした。長く勤めるなら事務職と考えていましたが、ポリテクセンターを知って、手に職をつけて就職する道があるのだと思うようになりました。ポリテクセンターの見学説明会で、受講者の方が溶接の作業をするところを見て、ここで学べば即戦力として働けると感じました。

#### ◇受講していかがでしたか？

- 一 受講中、パソコンの操作がわからなくて困っていると、隣の席の人が教えてくれたので、パソコン初心者の私も訓練についていけました。パソコンは全く自信がなくて、一人ではできなかつたろうと思います。だから、CADの仕事に就ける自信もありませんでした。

私が受講したCAD・ものづくりサポート科は、女性15名のコースでした。毎日通うのが楽しかったです。カルチャーセンターみたいなところで、もっとゆったりと学ぶイメージを持っていましたが、初日からそのイメージは覆りました。初日は、S先生が訓練開始時と終了時のあいさつを指導されました。起立・礼・着席の一連の動きを全員揃うまで厳しく指導されましたが、毎日実践することで自然とできるようになり、採用面接のときは助かりました。

#### ◇就職活動や当センターの就職支援は、いかがでしたか？

- 一 初心者でも丁寧に教えてくれる会社を探しました。でも、なかなか見つからなくて、あきらめていました。すると、就職支援担当の職員の方が、求人情報を提供してくださいました。求人内容を見ると、経験がない私にはハードルが高すぎると思いましたが、その方が「受けてみるだけでも受けてみたらいいじゃない。」とおっしゃったので、今後こんなチャンスはないと思い、応募しました。

#### ◇就職決定の決め手は？

- 一 自宅から近く、この求人を逃したらチャンスはもうないと思って、採用面接に臨みました。万代総務部長が、やさしく丁寧に対応してくださったのが印象に残っています。筆記試験もできなかつたし、描いた図面も恥ずかしいものだったと思います。電話で「採用」と言われ、入社を即決しました。

#### ◇今後の目標は？

- 一 今は、教えていただきながら仕事をしていて、できているかどうか分からない状態です。だから、まずは、任された仕事を確実にできるようになることを目指しています。

#### ◇就職活動中の方や職業訓練を受講されている方にメッセージをお願いします。

- 一 ものづくりは専門的で、経験のない私には、入りにくい、とっつきにくいというイ

メージを持っていました。学べば学ぶほど奥が深く、CADで図面を描くだけでなく、機械に求められる機能や性能、構造や機構から材料の強さなど、いろいろなことに気付いたりして楽しいです。勉強する意欲が一番大事だと思うので、知らない分野でも、視野を広げて、根気と熱意でものづくりにチャレンジして欲しい。

\* \* \* \* \*

**野口さんは、面接で“やる気あり”という印象を受けた。現場からも頼られている。採用して大満足。**

**川上さんは、CADの基礎ができていて、まじめで素直。将来性のある人材。期待している。**

野口様の上司の竹内部長と川上様の上司の山本部長に、それぞれの仕事ぶりや採用の決め手、今後の採用についてお話を伺いました。

◇お二人の採用の決め手は？

ー（竹内部長）野口さんは、職業訓練で汎用旋盤を使ったことがあることです。女性で機械加工を希望する人も珍しかったし、面接で“やる気あり”という印象を受けました。その場で“是非欲しい”と思いました。機械加工のようなしんどいと思われる仕事に就く若い人が少なく、後継者を育てるのが難しくなっています。そんな中で、チャレンジしてくれる、熱意があるということで、野口さんの採用を決めました。

ー（山本部長）川上さんは、採用面接をして、まじめで素直な方という印象を受けました。川上さんが応募されたCADオペレーターの部署には、活躍している女性社員がいて、その中に川上さんが新たに入られても社員たちとうまくやっていける、大丈夫だと思いました。

実際に現場でCADを描くときは、教科書どおりではなく、それぞれの企業でそれぞれ違ったルールがあります。川上さんは経験がないので、一人前になるには年数はかかるだろうけれど、他の会社で経験していない分、弊社の色に染まってくれるのが早いかなと思いました。CADの基礎は職業訓練で学んでいるし、CADだけでなく、マシニングセンタ、NC旋盤も実際に見て知っているの、説明すると伝わりました。

面接に持参されたCADで描いた機械図面を拝見すると、教科書どおり描かれてお

り、もっと簡単なものを描いていると思っていたら、意外と精密なものを描いておられました。弊社は、シンプルな部品を組み合わせで機械を製造するので、川上さんなら図形を思い浮かべることができると思いました。

◇お二人の仕事ぶりは？

- (竹内部長) 大変助かっています。私の業務の補佐をしてもらっています。現場からも信頼されていて、頼られています。現場から、「これを作って」と依頼されるくらいになっています。また、焼入鋼などの高硬度材の旋削も行え、スケールが付いている旋盤なので、 $\pm 0.001$ 位の精度を出してもらえます。今、きさげ加工、やすり掛けを練習してもらっています。技能検定2級の課題をしています。覚えが早い、呑み込みが早い、そして、やる気があります。
- (山本部長) 職務経験がないので、仕事を覚えるのに時間がかかるとしています。2・3年先を見て、やってもらおうと考えています。川上さんの年齢なら定年まで長く弊社で勤務できるし、川上さんは伸びしろがあるので、長く続けてゆくゆくは貢献してくれると期待しています。
- ということは、「働く時間ができた、正社員として働きたい」という川上さんの希望とマッチしていたということですね。

◇お二人は、御社が求めていた人材？

- (竹内部長) 野口さんは、欲しい人材とマッチしていました。職業訓練で基礎を学び、汎用旋盤の操作を習っているので、職業訓練を受講していない人とは違い、機械の操作を教えるのでも、違っていました。回転数、送りの加工方法を教えるのが楽でした。仕事に対する姿勢も前向きで、野口さんを採用して大満足です。
- (山本部長) 川上さんも、欲しい人材とマッチしていました。基礎ができていて、まじめで素直なので、教えやすいし、将来性のある人材です。職業訓練で学んだCADの基礎は、今の仕事に役立っています。

◇お二人に期待されていることは？

- (竹内部長) 野口さんには、図面を見て、自分で考えて加工できるようになってもらいたい。バイトも、市販のチップ式だけでなく、自分で削って、研磨まで行い、加工して欲しい。自分で研磨したバイトで加工すると、市販のものとは違い、仕上がりがきれいにできます。図面どおり加工するだけではなくて、仕上がりのきれいさも追求して欲しい。自分が作った部品の用途、何をする機械のどんなところに使われているのかを学びながら加工して欲しいと思っています。だから、組付の現場でも経験を積んで欲しいと考えています。
- (山本部長) 社内にキャリアが30年になるベテランの女性社員がいるので、その社

員を目標にして欲しい。身近にいいお手本となる社員がいるので、近づいていけるように仕事を覚えて欲しい。その女性は、CADを勉強して、前職では設計だけをする会社ではなく、図面、加工、組付と一連の工程を自社でする会社でCADをしてきた方です。弊社も自社で設計から製造まで行っているのです。いい図面が描けたかどうか、目の前ですぐわかります。



◇当センターに期待することやご要望は？

- － （竹内部長）会社単位で講習の場を提供して欲しい。そうすると、利用が広がると思います。求職者の方を対象とするコースなら、機械加工の場合は、6ヶ月で技能検定2級のレベルまでのスキルを身に付けて欲しい。
- － （山本部長）川上さんを採用して、基礎だけでもできているのがよかったと思っています。CADソフトは違うソフトでも構いません。他のソフトを使用するベースになるスキルが習得できるソフトであれば、スタンダードなソフトでよいと思います。

◇当センターの修了生以外で、未経験で入社された方は？

- － ありません。新卒も、学校で専門的なスキルを学んだ方です。倉敷の中国職業能力開発大学校（※）から採用しています。中途採用者も、分野は違いますが、ものづくりの仕事に関わっていました。

※中国職業能力開発大学校（岡山県倉敷市）は、企業や産業界の求める高度な技能や技術をもった人材を育成し、経済及び社会の発展に寄与することを目的として設けられた職業能力開発促進法に基づく厚生労働省所轄の大学校です。

<http://www3.jeed.or.jp/okayama/college/>

◇採用にあたり、重視されていることは？

- － 熱意、やる気、素直です。やる気のある人は、仕事に対する姿勢が違います。呑み込みが早く、頼んだ仕事を嫌だと言いません。

◇政府の女性活躍推進の施策に基づいて、当センターには女性求職者を対象とした「CAD・ものづくりサポート科」があります。女性の就業についておたずねします。御社には女性はどのくらいおられますか？

- － 30名中10名が女性です。フルタイム5名、パートタイム5名です。当初、女性は総務部長1名で、6年前から増えました。特にこの2～3年で増え、職場が明るくなりました。
- 担当業務は、CADオペレーター、設計、機械加工、電気制御部門で3次元測定、

そして事務です。

◇男性と女性で、能力や意欲などに違いはありますか？

－ 女性は、真面目で手を抜かないと思います。

◇今後、女性を採用される予定や計画は？

－ 男女のバランスがちょうどいいくらいなので、現時点ではありません。

◇ものづくり分野への就職を希望・検討している方にメッセージをお願いします。

－ (竹内部長) 若い人に手に職を付けて、頑張ってもらいたい。自分の思い通りに機械が動いて、思っていたものができると、達成感、やりがい、喜びがあります。いいものができたとき、精度が出たとき、ガッツポーズしたくなります。日本のものづくりを若い人の手で取り戻して欲しい。

－ (山本部長) ものづくりの仕事で一人前になるには時間がかかりますが、スキルを身に付けば長く勤められる仕事です。長い目で見て、ひとつの仕事をつとめたいと思われる若い人に、ものづくりの仕事に是非チャレンジして欲しい。

株式会社ハル技術研究所

所在地：岡山県岡山市東区南古都南方  
3670 番地 2

設立：2003 年 12 月 3 日

資本金：300 万円

従業員数：30 名

事業内容：工作機械、省力機械の製造・販売、切削  
専用機の構想設計・製図・製作・据付、  
検査治具の設計製図



(取材後記)

◎入社して1年が過ぎた野口様。職場にもすっかりなじまれて、希望していた汎用旋盤での加工、ものづくりの仕事ができる喜びがあふれ出ていました。

◎まじめで素直と評価されている川上様。「ちんぷんかんぷん」と語られていましたが、この3ヶ月は周りについていこうと必死に頑張ってきた様子が伺えました。

◎「精度が出たとき、ガッツポーズしたくなります」と、機械加工の魅力を語ってくださった竹内部長。野口様の仕事ぶりや期待を温かいまなざしで熱く語られる様子から、



「後継者を育てるのが難しい」中で、「愛弟子を得たり！」と思っておられるのではないかと感じずにはおれませんでした。

- ◎「経験がないので、仕事を覚えるのに年数がかかる」「社内のベテラン女性をお手本に」「長く勤めて貢献して欲しい」と、川上さんへの期待を語ってくださった山本部長。川上様の不安を受け止めながらも、将来像を明確に示されたのは、「川上さんならできる」と確信されているからと思われました。
- ◎野口様、川上様がお話くださったとおり、社員のみなさまのご対応が丁寧で、やさしさと温かさを感じました。

<2018年10月>